

受理番号	受理年月日	件 名 及 び 要 旨	提 出 者 住 所 氏 名	送 付 委員会名
6 年 第 21 号	6. 1 1. 1	県央・鹿行連携道路の整備に関する要望 県央地域と鹿行地域を連携する道路である主要地方道水戸神栖線及び玉里水戸線は、潮来市の国道 51 号から行方市を縦貫し、小美玉市を経て常磐自動車道・北関東自動車道・県都水戸市に至る広域的な幹線道路として、県央地域と鹿行地域の人、物、文化の連携・交流に欠かせない重要な路線となっている。 さらには、沿道の茨城空港の開港に伴い、周辺道路が整備されたことから、当路線の整備により、ますます地域間の連携・交流が促進されるとともに、行方台地・常陸平野の広大な土地の開発ポテンシャルが向上し、県央・鹿行地域の発展に大きく貢献できるものとして期待されているところである。 本路線の潮来市区間は整備が完了し、行方市区間と小美玉市区間は順次整備が進められているが、狭隘、屈曲、歩道未設置箇所が、いまだ多く存在する状況であり、走行性・安全性の面からも早急な整備が強く望まれているところである。 ついては、本同盟会の趣旨と熱意を理解してもらうとともに、事業中区間の整備継続と未計画区間の計画のための予算措置をし、整備促進のため下記事項について特段の配慮を要望する。 記 1 現道の危険箇所の早急な整備をすること。 2 水戸神栖線が行方市区間及び玉里水戸線のバイパス区間の早期事業完了を図ること。 3 未計画区間の計画決定と早期事業化をすること。 4 地域づくりの根幹をなす道路整備を積極的に推進していくため、地方の道路整備財源の充実と計画的な整備について、特段の配慮をすること。	水戸神栖線・玉里水戸線道路 建設促進期成同盟会 会長 小美玉市長 島田 幸三	土木企業 立地推進